

施策評価調書(元年度実績)

| | | | | | | | | |
|------|-----|------------------|-------|---------|---------|--|---------|----|
| | | | | 施策コード | Ⅱ-2-(2) | | | |
| 政策体系 | 施策名 | 商業の活性化とサービス産業の革新 | 所管部局名 | 商工観光労働部 | | | 長期総合計画頁 | 87 |
| | 政策名 | 活力と変革を創出する産業の振興 | 関係部局名 | 商工観光労働部 | | | | |

【Ⅰ. 主な取り組み】

| | | |
|-------|------------------------------|------------------------|
| 取組No. | ① | ② |
| 取組項目 | 多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興 | 県産品の販路開拓・拡大による 物産振興 |

【Ⅱ. 目標指標】

| | 指 標 | 関連する 取組No. | 基準値 | | 元年度 | | | 6年度 | 目標達成度(%) | | | | | | | | | | | |
|----|--|---------------|--------------|-----|--------------|--------------|--------|-------------|----------|----|----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 | | | | | | | |
| i | 県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社) | ① | H25、26 平均 | 30 | 45 | 42 | 93.3% | 60 | | | | | | | | | | | | |
| ii | サービス産業の労働生産性(万円/人) | ① | H23 | 309 | 365 (H27) | 365 (H27) | 100.0% | 393 (R2) | | | | | | | | | | | | |

【Ⅲ. 指標による評価】

| 評価 | | 理 由 等 | 平均評価 |
|----|----------|--|------|
| i | 概ね 達成 | 販路開拓や商品の改良、業務効率化等、生産性の向上につながる取り組みを積極的に支援したことにより、目標値を概ね達成した。 | 達成 |
| ii | 達成 | 観光関連産業を対象とした人材育成や補助支援及びキャッシュレス決済の導入推進並びに県産品の商談会やフェアの開催により、生産性向上を図ったことで、目標値を達成した。 | |

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価 |
|--------|--|
| ① | <ul style="list-style-type: none"> ・外需獲得型商店街に向けた拠点づくりや受入環境の整備、人材育成事業等を支援することにより、個店の集客や売上が向上した。 ・商工団体や地域金融機関等とオール大分で県内のキャッシュレス化を推進した結果、飲食店のクレジットカード導入率の伸び率が全国1位となった。 |
| ② | <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏等からバイヤーを招くターゲット別マッチング商談会の開催や、大規模展示会出展支援等により、取引機会と、商品改良に向けた意見を得る機会を創出することで、県内メーカーのレベルアップを図った。 ・フラッグショップを活用した食材商談会や出張販売、スーパーと連携した大分フェアの開催等により、県産品の県外へのPRができた。 ・上海事務所や貿易協会、JETRO等と連携した海外販路開拓活動により、中国、マカオ、米国圏等において取引成約ができた。 |

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(元年度事業) | 事務事業評価 | |
|--------|----------------|-------------|-----|
| | | 成果指標の達成率(%) | 掲載頁 |
| ① | 域外消費型商店街等支援事業 | 72.9 | 184 |
| | キャッシュレス化推進事業 | 84.7 | 184 |
| ② | 県産品販路開拓支援事業 | 152.1 | 184 |
| | フラッグショップ活用推進事業 | 86.0 | 185 |
| | 県産加工食品海外展開支援事業 | 97.1 | 185 |

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

| | |
|---|---|
| <p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第3回総合部会(R1.8)</p> <p>・生産性向上という言葉が聞かないことはないが、自分たちが先端技術とどうつながれば良くなるかということが見えてこないで、中小企業が多い大分県はその辺りを丁寧にする事で沢山のモデルが出来るのではないかと思います。</p> | <p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回総合部会(R1.7)</p> <p>・海外戦略の推進として、先手を打つ形で施策的に中小企業をリードしていくものがあるとよい。</p> |
|---|---|

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・県内のキャッシュレス化は飲食店のクレジットカード導入率の伸び率が全国1位になるなど着実に普及が進んだものの、サービス産業はデジタルデータを活用した分析など不十分な状況であることやポストコロナ時代を見据えて、キャッシュレスを起点に先端技術を活用した新たなビジネスモデルへのシフトチェンジを図る。 ・物産振興では、引き続き百貨店やスーパーと連携した「大分フェア」の開催や、大都市圏バイヤーと県内メーカーとのマッチング、おおいた食品産業企業会と連携した商品改良をするほか、海外における販路開拓についても、ジェトロ大分や大分県貿易協会、貿易アドバイザー等との連携強化を図り、企業毎の海外戦略に対応した販路開拓・拡大の取り組みを実施する。 ・フラッグショップの活用では、民間店舗と連携した物産販売や大手企業への出張販売などにより、県産品の露出機会を増やすとともに、語り部スタッフの研修、地域フェアの開催などにより、大分の「食」の魅力をはじめとした情報発信に努める。 |